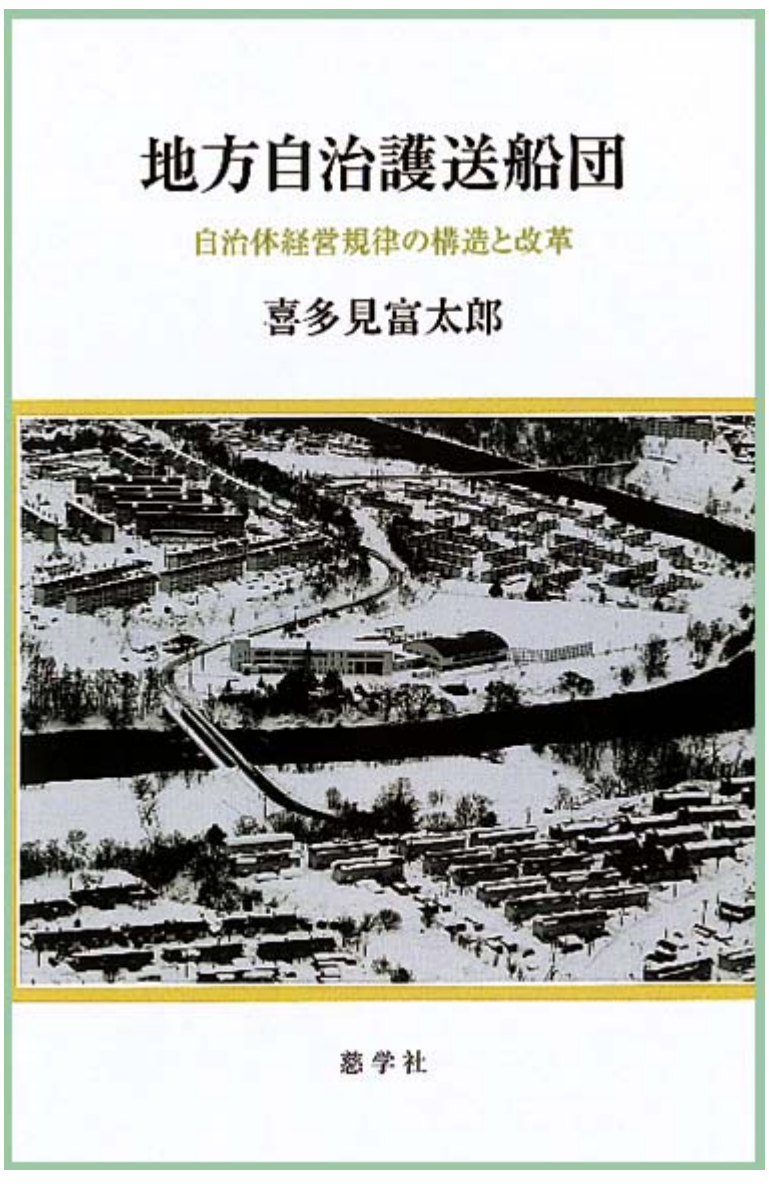
地方自治護送船団

自治体経営規律の構造と改革

著　者：喜多見富太郎
大阪府政策企画部企画室統括参事
東京大学政策ビジョン研究センター シニア・リサーチャー

ISBN978-4-903425-63-4　C3032
定価［本体7,000円＋税］　A5判　上製カバー　372ページ



本書は、戦後日本の自治体の経営規律を理論的に把握する枠組みを提供し、データと事例を通じてその実態を目に見える形で読者に示すことを目的とする。

本書を「地方自治護送船団」と題しているのは、自治体の経営規律の実体を自治省が主宰する護送船団の均衡システムととらえ、その構造と改革を理論的・実証的に可視化しようとするからである。

本書の目的は、自治体の改革に携わる市民、実務家、研究者へのフィールドマップを提供することにある。

戦後日本の自治体の経営規律は、地方政治や地域社会から見えない行政領域に堅牢に構築されたシステムによって維持されてきた。……

筆者は、この隠然化されたシステムが、国民・住民による評価と選択が可能となるように可視化されることが何よりも重要であると考える。そのために、モデル化と観察という手法を用いて、「地方自治護送船団」の可視化をめざした。……　本書では、地方自治護送船団の改革と、それに代替する新しい規律システムとなる「地域によるガバナンス」という統治デザインを提示する。

本書は自治体の改革者のための書でありたいと思う。

［主要目次］

序　章　自治体の経営規律
　第1節　はじめに
　第2節　自治体の経営規律と「地域によるガバナンス」
　　第1項　先行研究
　　（a）　行政統制論・行政責任論
　　（b）　公共ガバナンス論
　　（c）　コーポレート・ガバナンス論
　　第2項　自治体の経営規律
　　（a）　開放均衡系組織の基底的均衡
　　（b）「規律付け」の構造
　　第3項　「地域によるガバナンス」
　　（a）　規律システムとしての「地域によるガバナンス」
　　（b）「地域によるガバナンス」の構造
　　（c）「地域によるガバナンス」の位置づけ
　第3節　本書の構成

第1章　地方自治護送船団の構造
　第1節　組織構造
　第2節　均衡構造
　第3節　経営構造
　第4節　遷移構造
　第5節　支配構造

第2章　地方自治護送船団の観察
　第1節　観察の枠組み
　第2節　地方自治護送船団の時系列観察
　第3節　地方自治護送船団の横断面観察
　第4節　地方自治護送船団の機能観察

終　章　地方自治護送船団の改革
　第1節　地方自治護送船団の改革類型
　第2節　システム改革とシステム内改革
　第3節　世紀転換期の経営規律改革

　参考文献
　付録　自治省からの都道府県出向者の庁内配置・異動パターンの分析
　あとがき・索引

著者紹介

喜多見富太郎（きたみ　とみたろう）

大阪府政策企画部企画室統括参事・東京大学政策ビジョン研究センターシニア・リサーチャー

昭和32年6月26日生。昭和57年東京大学法学部卒業。同年大阪府入庁、平成13年より経済産業省への出向、経済産業研究所コンサルティングフェロー・経済産業省大臣官房企画課などの兼務を経て、現在大阪府政策企画部企画室統括参事。平成21年より東京大学政策ビジョン研究センターシニア・リサーチャーを兼務。なお、平成6～7年に米国留学(Boston University (School of Law), Harvard University (John F. Kennedy School of Government))修了、平成7年米国ニュー・ヨーク州司法試験合格、平成8年米国ニュー・ヨーク州弁護士登録)。平成21年東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了。平成21年「博士(法学)特別優秀賞」(東京大学)を受賞。

主　著　『地方出向を通じた国によるガバナンス　東京大学行政学研究会研究叢書4』(東京大学21世紀COEプログラム、2006年)、「地方財政の再設計：地方ガバナンス改革からの視点」『日本の財政改革』(青木昌彦、鶴光太郎編著、東洋経済新報社、2004年)、「地方自治体における市場化テスト導入の可能性と課題」『概説市場化テスト　官民競争時代の到来』(市場化テスト研究会編、NTT出版、2005年)、「日本における企業結合審査」『産業再生と企業結合　課題・政策・ルール』(鶴田俊正、糸田省吾、日下部聡編著、NTT出版、2004年)など。